



ネイチャーセンターだより

2022年5月号

新・いきもの図鑑



ミソサザイ (ミソサザイ科)

ミソサザイは、くちばしから尾羽の先までが約10cm、体重は7～11gしかない小さな鳥です。体形は丸く、尾羽をピンと立てています。全身が茶褐色で、地味な見た目をしています。

オスは、春から夏になると、小さな体からは考えられないほど大きな声でさえずります。切り株や岩の上などでさえずるため、さえずる姿をよく目にします。

日本では、鹿児島県種子島以北の主に山地の湿った林に生息しています。ネイチャーセンター周辺では、春から夏、春国岱の森と東梅自然学習林でよく見られます。秋から冬も少数が見られます。

【参考文献】 齋藤武馬. 2016. ミソサザイ. Bird Research News Vol.13 No.7.

今年もミヤコドリが帰ってきました

NEWS

今年もミヤコドリが帰ってきました。4月8日の12:00過ぎ、風蓮湖内の干潟に4羽が降りているのが観察されました。春国岱周辺では、例年の初認日（シーズン内で初めて記録された日）は、4月9日なので、今年も、ほぼ例年通りの飛来でした。（表1）

ミヤコドリは、春国岱では1990年代から定期的にみられるようになり、多くは越冬地から繁殖地へ向かう途中の4～5月に立ち寄ります。今年はその後、4月29日に94羽を記録し、2017年4月29日の過去最大記録に並びました。

春国岱でミヤコドリが見られるのは、5月中旬頃まで。春国岱で得た栄養で、よき繁殖期を過ごすしてほしいものです。

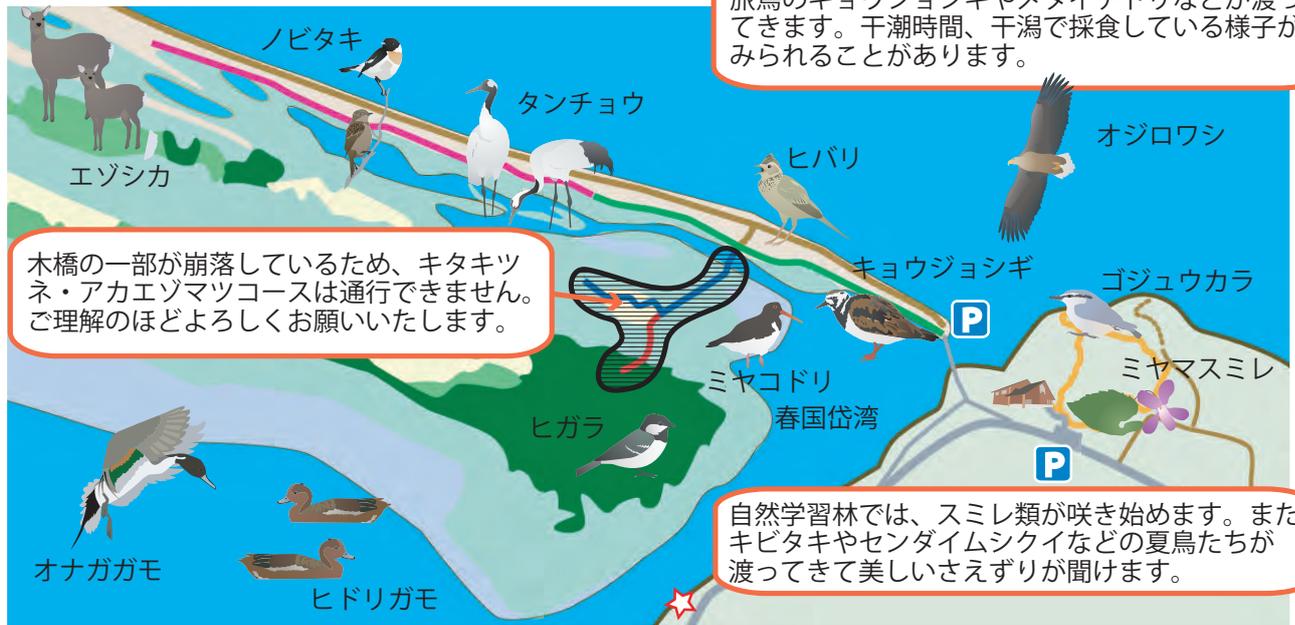


表1 春国岱周辺の2006年から2021年までのミヤコドリの初認日の一覧

年	初認日	年	初認日
2006	4月10日	2015	4月13日
2007	4月10日	2016	4月6日
2008	4月12日	2018	4月8日
2009	4月7日	2019	4月14日
2011	4月17日	2020	4月5日
2012	4月7日	2021	4月5日
2013	4月6日	平均	4月9日
2014	4月13日		

※2010年と2017年の初認日は、休館日の次の日であったため除いています。

見どころMAP



旅鳥のキョウジョシギやメダイチドリなどが渡ってきます。干潮時間、干潟で採食している様子がみられることがあります。

木橋の一部が崩落しているため、キタキツネ・アカエゾマツコースは通行できません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

自然学習林では、スミレ類が咲き始めます。また、キビタキやセンダイムシクイなどの夏鳥たちが渡ってきて美しいさえずりが聞けます。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

<キタキツネ・アカエゾマツコースの補修の予定は、分かりしだいネイチャーセンターだよりやホームページ、Facebookでお知らせします。>

5月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よーく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ	+	少数が風蓮湖周辺に残り、子育てをしている。干潮時、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、魚や水鳥などを狙っている姿が見られる。
タンチョウ	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで採食している様子や、休む様子がよく見られる。5月は、抱卵・ふ化の時期でとても神経質になっている。巣を探したりせず、落ち着かないよすのタンチョウがいたら近づかずすぐに離れてほしい。
オオジシギ	○	ネイチャーセンター駐車場付近や自然学習林に隣接する草原で、オスがメスに求愛するため「ズビャク、ズビャク」と鳴きながら飛び、「ゴゴゴ」と尾羽で音を出しながら急降下する姿が見られる。
ミヤコドリ	○	5月上旬には数が減っていき見られなくなる。5月の終わりまで残っているものもいるが少ない。
春国岱	野鳥 (森)	木橋修復中のため、通行できません。
	野鳥 (草原)	海岸の草原ではヒバリやハクセキレイのさえずりがよく聞かれる。風蓮湖の周りでは、ノビタキやオオジュリンが見られる。
	花	エゾノコウボウムギ(一昨年5月23日開花、昨年6月7日開花)・ハマハタザオ(昨年5月29日開花)などが見られる。
自然学習林	野鳥	夏鳥が続々と渡ってくる。5月上旬にはセンダイムシクイやエゾムシクイなどが渡来し、下旬にはキビタキが見られる。
	花	ミヤマスミレ(4月26日開花)・ヒメイチゲ(4月28日開花)などが見られる。

(公財) 日本野鳥の会から レンジャー着任のご挨拶

大久保 明香 (おおくぼ はるか)



よろしくお祈ります！

はじめまして。4月末からネイチャーセンターに勤務となりました。学生時代に青森でヨシゴイの研究をし、卒業後は日本野鳥の会の東京事務所で販売の仕事をしていました。レンジャーとして働くのは初めてです。東京と根室では、環境も季節も見られる鳥の種類も異なります。初めて根室に来た時に、街中をオオセグロカモメが飛び、バスの窓からタンチョウやオジロワシの姿が見え、人々の生活のすぐそばに大自然が広がっていることに感動しました。

未熟者ではありますが、根室の自然や市民のみなさまからたくさんのお話を学び、ここを訪れるみなさまに豊かな自然を楽しんでいただけるよう、頑張ります。(春国岱ネイチャーセンターは大久保の他、古南幸弘が担当いたします。)

異動のご挨拶

稲葉 一将 (いなば かずまさ)



5月より、ウトナイ湖サンクチュアリに異動することになりました。春国岱ネイチャーセンターでの在籍期間は約2年でしたが、前所属の野鳥保護区事業所を含めると、5年ほど根室で活動をしていました。最初は、旅行でも来たことのない北海道で自分がやっていけるのか不安でしたが、根室の皆さんとの交流や雄大な自然を見ていて、根室のことがとても好きになりました。

様々な野鳥と出会え、たくさんの貴重な経験ができました。バードウォッチングの聖地、根室で活動ができたことは、自分にとって幸せな時間でした。ウトナイ湖では、根室で学んだことを活かして全力で頑張りたいと思います。今までありがとうございました。

シマアジが記録されました

コガモとほぼ同大の小型のカモ類。道内で繁殖することがあり、過去に根室半島のノツカマップや春国岱でも繁殖が見つかっていますが、近年は春国岱では春と秋にまれにしか見つかっていません。この春は下記の2回、ネイチャーセンターから、おそらく同じ個体と思われる2羽を記録しました。



- ・3月31日 9:15、根室湾内でオス2羽が採食していた。
オナガガモ・ヒドリガモの群とともに行動していた。(稲葉一将)
- ・4月1日 春国岱ネイチャーセンターの前浜でオス2羽を確認。春国岱湾方面から飛んできて着水、すぐに温根沼方向へ飛去した。(古南幸弘)

<春国岱での過去の記録> ・2020年4月30日 東梅ハイドと春国岱の間の水面で、オス1羽がコガモの群れに混じり採餌していた。(稲葉一将)
 ・2012年10月28日 (詳細不明)
 ・1990年7月 ヒナ連れ確認(是枝)
 ・1983年9月4日 4羽を確認
 ・1977年7月 ヒナ確認

出典：ニムオロ自然研究会. 2005. 根室市鳥類生息調査報告書。
 /日本野鳥の会. 1985. 春国岱原生野鳥公園基本計画報告書。

春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

◆第27回 タンチョウイラスト展

(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリでは、タンチョウが生息する地域の子どもたちにタンチョウへの興味・関心を深めてもらうため、毎年イラストを募集し作品展を開催しています。1994年から始まったこの活動は、今回で27回となりました。第27回タンチョウイラスト展では、道東に住む小・中学生を中心に416点の作品が集まりました。

以下の会期中、いつでも作品をご覧ください。

- ・会期：5月14日(土)～5月29日(日) (5月18日・25日は休館日のため休み)
- ・会場：春国岱ネイチャーセンター

◆小鳥の小道のネイチャーウォッチング

ネイチャーセンターのとなりの自然学習林を歩きながら、野鳥や草花、いろんな生き物をさがします。

- ・開催日：5月22日(日) 7:00～9:00 (※雨天等悪天候の場合は5月29日(日)に順延)
- ・集合場所：春国岱ネイチャーセンター
- ・対象：3歳以上おとなまで。
(小学生以下は保護者の方がご同伴ください；17歳以下の方は保護者の方が参加申込確認書にご署名ください)
- ・定員：20人(先着順)
- ・参加費：100円(保険代含む)
- ・持ち物：長そで、長ズボン、帽子、歩きやすく汚れてもよい靴(長靴がベスト)、マスク、飲み物、筆記用具、虫よけスプレー、お持ちの方は双眼鏡(貸出しあり)
- ・申込方法：メール、電話または来館時に直接お申込み。
参加者全員の氏名・連絡先・17歳以下の方は年齢もお知らせください。
〆切：5月19日(木) 17:00

Tel : 0153-25-3047 E-mail : nemu_nc@marimo.or.jp



★新型コロナウイルス対策のため、ご参加の際に、参加申込確認書で当日から2週間以内までの健康状態等について確認させていただきます。また、行事を中止させていただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。



募集中!

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3火曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

E-mail. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：(開館時間9:00～17:00)

5月2・6・9・10・11・12・18・25日 6月1・8・15・22・29日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録